

朗読ボランティア活動を通して 地域福祉に貢献を！

朗読ボランティア・やよい

1. 茨城県立こども病院で、年間延べ約400人の 子どもたちと交流

平成24年度 24回実施。 実施内容:読みきかせ、紙芝居、かるた遊びなど。

ボランティア紹介

朗読ボランティア やよい

代表 菅原 利満

私たちは、クラブ設立してすぐに始めたのが、こちらのボランティアで、約10年になります。

外来のプレイルームで、診察を待っている子供たちと一緒に来ている兄弟のみなさんが、楽しく時間が過ごせるように活動しています。

活動日時は第1,2週木曜日、午前10時からの90分である。いろいろなお話の本を持っていきますが、何年たっても子供たちの一番人気は、紙芝居のアンパンマンです。

積極的に遊びに参加する子、はずかしくてお母さんの陰にかくれている子、いろいろな子供たちがいますが、そんな子がようやく遊び始める事ができ、終わりの時間がきても、まだ遊ぶー！と言われると楽しくなってよかったなという思いと、ごめんねという思いで片付けをしなければなりません。

これからも子供たちと親御さんの病院での待ち時間が少しでも短く感じ楽しく過ごせるように、お手伝いしてきたいと思います。



ボランティアコーディネーター 河内和子より

外来のプレイルームで診察を待つ子どもたちに、やさしいまなざしで見守りながら、遊びのお手伝いをしてくれているのが「やよい」の皆さんです。無理に遊びを押し付けず、紙芝居やお手玉、ブロックなどに関心を持たせたら、子どもに寄り添い静かに遊ぶ。さすが外来ボランティアのベテランです。

「茨城県立こども病院だより」第28号(平成25年6月15日発行)より転載

2. 小学校で年間延べ約600人の児童に読みきかせ

水戸市立堀原小学校で平成24年度 19回実施。

読んだ本:『花咲き山』、『じごくのそうべえ』、『蜘蛛の糸』、『ぼくは「つばめ」のデザイナー』など



熱心に聞き入る堀原小学校4年生

3. 朗読力を磨く勉強会

平成24年度 21回実施、毎月第1, 3木曜日

テキスト:『夢十夜』(夏目漱石)、『注文の多い料理店』(宮澤賢治)など

4. 朗読を楽しむ発表会 (平成25年3月21日、赤塚ミオス)

読本の題名と作者または编者:

- | | |
|---------------------------------|--------------------------------------|
| (1)『霧の橋』(乙川優三郎) | (5)『不思議な石うす』(かたおか しろう) |
| (2)『本所深川ふしぎ草紙』(宮部みゆき) | (6)『ものぐさじじいの来世』(小川未明) |
| (3)『ねずみ経』(ひがしお あやこ) | (7)『神も仏もありませぬ
— これはペテンか? —』(佐野洋子) |
| (4)『心に残るとっておきの話 四万十川』
(形山昌由) | (8)群読 『蜘蛛の糸』(芥川龍之介) |

☞ 手話で歌おう「四季の歌」

5. 街頭での赤十字共同募金活動など

- ・ 県立こども病院でのボランティア研修会

「病院ボランティアのこれからとわたしたち」(常磐大学・池田幸也教授)

- ・ 水戸市社会福祉協議会のボランティアサークル連絡会と研修会

「江戸しぐさに学ぶ」(茨城大学・長谷川幸介准教授、江戸文化研究会・外岡仁氏)

- ・ ミオス・ボランティアまつり
- ・ ボランティアパネル展

などに参加した。

朗読ボランティア活動に興味のある方へ:

ボランティア経験の有無を問わず、**本を読む楽しさを子どもたちに伝えたい方**、朗読を通して**若々しい脳をいつまでも保ちたい方**の見学、照会を歓迎いたします。原則として毎月第1, 3木曜日午後1時30分～4時に、水戸市福祉ボランティア会館(赤塚駅北口ミオスビル)で活動しています。

問い合わせ先: クラブ代表者 菅原 TEL 090-3246-5335